

<活動報告書>

フリガナ		ダイ16カイコンクリートコウシエン	
①団体名		第16回コンクリート甲子園	
②担当者	フリガナ		
	氏名		
	所属 役職		
	TEL		
	E-mail		
③申請テーマ		土木材料（コンクリート材料）への興味・関心から、将来、土木分野への就業を促す。	
④活動期間		5年 6月 ～ 5年 12月	
⑤活動内容を記載		コンクリート甲子園を通して、身近な建設部材であるコンクリートの特性や配合設計の基礎知識を身に付けさせる。また、実際のコンクリート材料に触れ、材料の選択や配合設計、練り混ぜ等を自らがを行い、フレッシュコンクリートの基礎的な感覚を身に付けさせる。そして、本大会に参加することにより、参加生徒同士の交流を深めるとともに他校の工夫や発表等を聴き、幅広い考え方を身に付けさせることを目的としている。 本大会は、主催者の変更はあったものの、今年度で16回目の開催となる。本実行委員会は、第12回大会時に設立され、今年度も回を重ね継続する。 今年度の参加チームは、北は北海道、南は九州まで全国にわたり過去最多の32チームのエントリーがあった。初参加のチームも2校あり、今後より盛大に開催されることが予想される。 毎年、競技内容を見直し、大会がマンネリ化しないように工夫を凝らしている。それに対して、参加チームも熱心に大会準備を行い、コンクリート技術においてもプレゼンテーション技術においても、年々スキルアップが見られ、各方面から注目を集めている。今回はコロナ前の開催方法に戻し、現地参集にて行った。生徒同士の交流や情報交換など非常に有意義な大会となった。	
⑥活動説明動画の有無		ある ・ なし	
⑦活動費用合計		1,200,000 円	

<活動状況写真>

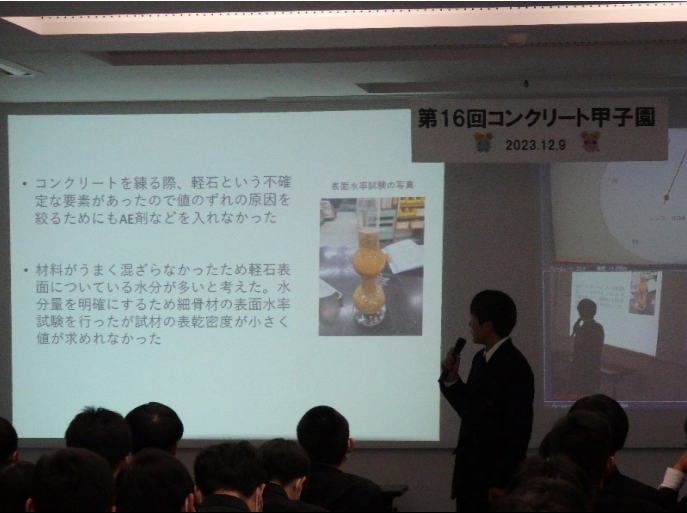
【写真1】



（状況説明）

予選は審査委員4名と必要最小限の実行委員立ち会いのもと行われた。香川県生コンクリート工業組合技術試験センターにおいて、実行委員による競技内容の確認を行ったのち、「強度部門」のみの審査を厳正に行った。そして、エントリーされた32チームから、本選に進む10チームを選出した。

【写真2】



（状況説明）

本選出場校によるプレゼンテーションを行った。各チーム5分以内で制作過程や創意工夫などを発表した。そののち、審査員による質疑応答を行った。どのチームもそれぞれの特徴を活かした発表を行った。

【写真3】



（状況説明）

大会終了後参加者全員による集合写真を撮影した。4年ぶりの現地参集となった今大会で、改めて直接会話をを行うことの必要性を感じた。また、入賞した学校、できなかった学校と結果はさまざまであったが、どの生徒も晴れやかな表情であった。大変有意義な大会を終えることができた。